

## 平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

鳥羽市

令和元年 10 月

本年 4 月に小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、7 月 31 日に文部科学省から公表されました。

調査結果や本市における児童生徒の学力の定着状況、生活習慣、学習状況等の分析結果、今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における下記の「8. 調査結果の取扱い」の「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項」をご覧ください。

### 8. 調査結果の取扱い

文部科学省は、以下のとおり、調査結果を示し、公表するとともに、各教育委員会、学校に対して、調査結果等を提供する。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 21 条第 17 号の規定により、調査の実施、調査結果の活用及び公表等を含め、調査は教育委員会の職務権限である。そのため、教育委員会は、調査結果の活用及び公表等の取扱いについて、主体性と責任を持って当てることとする。

## 調査の概要

### ・調査の目的

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全市的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらにそのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する目的で実施されています。

### ・調査の対象および実施した公立学校数・児童生徒数

| 区分    | 小学校第 6 学年 | 中学校第 3 学年 |
|-------|-----------|-----------|
| 学校数   | 8 校       | 5 校       |
| 児童生徒数 | 1 2 7 名   | 1 3 1 名   |

# 1 教科に関する調査の結果・分析

## (1) 鳥羽市における特徴的な傾向

### ＜小学校国語＞

#### ○強み

- ・無回答率が低い。
- ・無回答率 5.3%（昨年は 6.3%）（三重県 5.5%，全国 6.2%）

テスト問題の一つひとつについての強みは特にありませんが、あきらめることなく取り組む力がついてきており、全体的な底上げはできています。これまでの取組の成果が表れているというところに、鳥羽市としての強みがあるといえます。今回の結果を受けて、さらに授業改善に力を入れていくことが望まれます。

#### ○弱み

- ・問題 1 三：正答率 31.5%（三重県 30.1%，全国 28.8%）

「資料を読み取って、条件に当てはめながら、報告する文章を書く問題」

正答率は三重県・全国を上回っているのですが、必ずしも高い正答率とはいえません。書かれていることの大まかな意味を読み取ること、その中から必要な情報を見出すことができていないといえます。また、見出したとしても、条件に当てはめてまとめることが十分ではなかったといえます。

- ・問題 3 一：正答率 77.2%（三重県 81.8%，全国 81.3%）

「インタビューの回答について、自分が理解しているかどうかを確かめる質問を、選択肢から選ぶ問題」

三：正答率 66.1%（三重県 69.4%，全国 68.2%，無回答 15.7%）

「筆者がインタビューをして特に心に残ったことをとらえ、条件に合わせて 30 字以上 60 字以内にまとめて書く問題」

問題文の中にある、インタビューをする人とされる人のやりとりを整理して理解することができなかったと考えられます。問題文の一部分のみを捉えて解答してしまったと思われます。

#### ■全体の傾向から見られる課題

- 問題 3 の、インタビューの様子を読み取る問題において、「昼職人の仕事への思いや考え」を読み取ることに課題があります。手作りへのこだわりと機械づくりとの読み違いが目立ちます。記述問題においては、無回答率も他の問題に比べて高くなりました。全体の内容から読み取れることを整理したり、短くまとめたりするなど、まとまった文章を一読して読み取ることを意識した指導を行うことも必要だと思われます。

問題 1 の問題文は、図とともに文章が段落ごとに整理されており、短くまと

まっています。解答類型を見てみると、このような文章を読み取る力がついてきていることが分かります。県や全国との比較で、正答率は高くなっている要因の一つだといえます。問題文を読み取り、ある程度理解はできていても、条件を満たして記述することができず正解にたどり着けないことがあります。問われていることと、答えるべきことを明確にとらえきれていないことが要因として考えられます。より伸ばしていくために、問われていること、答えるべきことをとらえられるようにする指導が必要です。

## ＜小学校算数＞

### ○強み

- ・問題 3 (1) : 正答率 87.4% (三重県 83.2%, 全国 81.8%)

(2) : 正答率 33.9% (三重県 29.6%, 全国 31.1%)

「計算しやすいように、かけ算わり算を工夫するためのきまりの理解を確かめたり、きまりを使ってものの値段を求めたりする問題」

わり算の性質について理解し、説明できている児童が比較的多くなりました。記述が不完全なため正答とははたなくとも、割り算の性質は理解できている児童がいることも解答類型から読み取れます。

- ・全問題の正答率 64% (三重県 67%, 全国 66.6%)

- ・無回答率 2.1% (昨年は 3.1%) (三重県 2.5%, 全国 2.7%)

無回答率が昨年度よりも低くなっています。子どもたちが、あきらめることなく課題に取り組んでいることが分かります。先生方が一人ひとりに対して粘り強くていねいな指導を続けている成果であるといえます。あきらめることなく取り組む力を生かして、さらに力を伸ばすことができるともいえます。今回の結果を受けて、授業改善に力を入れていくことが望まれます。

### ○弱み

- ・問題 1 (3) : 正答率 38.6% (三重県 40.1%, 全国 43.9%)

＊ 面積の求め方を、言葉と式を使って説明する問題

問題と全体的な計算の流れは理解していても、説明しきれず不正解になっている子が 30%以上います。一つひとつの式が表す意味をとらえたり、とらえたことを説明するために必要な言葉を使ったりすることに課題がみられます。

- ・問題 2 (2) : 正答率 75.6% (三重県 82.1%, 全国 78.6%)

＊ 棒グラフをみて、必要な情報を読み取る問題

(3) : 正答率 41.7% (三重県 51.3%, 全国 52.1%)

＊ 知りたいことについて、2つの棒グラフを根拠に説明している選択肢から最適なものを選ぶ問題

(4) : 正答率 56.7% (三重県 66.0%, 全国 60.1%)

＊ 「 $6+0.5\times 2$ 」を適切に計算する問題。

棒グラフの、どの項目が多いか少ないかということだけに目が行き、情報として読み取れていないことがわかります。グラフから必要な情報を読み取ったり、表している意味をとらえたりすることに課題があります。

また、計算のきまりを使いこなす力が定着していないことがわかります。「強み」で示したような、わり算の性質を理解して計算をする力がついてきているので、繰り返しの学習などで対処できると思います。

#### ■全体の傾向から見られる課題

- 文章量の多い問題やグラフから、必要な情報や数量を読みとることができていないといえます。数学的に考える力につなげるためにも、出来上がった式を言葉で伝えることで、一つひとつの式の意味をとらえたり、適切に説明したりする力をつけていくことも必要だといえます。

基礎と応用を分断するのではなく、場面が示す文脈の中で、知識を活用していくといった指導方法が大切だと考えます。また、日常生活の事象に関する問題を多く取り入れることも大切だと考えます。理解できたことを発表したり振り返りに書いたりすることで説明するほか、適用問題に取り組むことも効果があると考えます。

#### <中学校国語>

##### ○強み

- ・問題 1 一 : 正答率 67.9% (三重県 62.8%, 全国 63.9%)

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができています。新聞のリード文に書かれている内容を捉え、趣旨を理解することができました。

- ・問題 2 三 : 正答率 65.6% (三重県 61.9%, 全国 60.4%)

文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができています。話し合いの話題や方向を捉えて自分の意見を述べることができました。「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題での話し合いにおいて、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えをもち、解決する具体的な案を実際に話すように書くことができました。

- ・問題 4 : 正答率 83.2% (三重県 77.8%, 全国 78.7%)

語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解できています。語の一部を省いた表現 (インターネットのことをネットと言う等) は相手、目的、意図、多様な場面や状況などに応じて適切に活用するものであると理解できました。

・無回答率

全10問中5問について、全員が回答しました（無回答率0%）。三重県や全国では全員が回答した問題はありませんでした。

○弱み

・問題1二：正答率55.7%（三重県 60.3%，全国 61.5%）

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができませんでした。

「弁当」の複数の魅力について書かれた新聞の本記事を読み、その魅力が何かを正確に捉えることができませんでした。

・問題1四：正答率51.9%（三重県 53.4%，全国 56.8%）

無回答率3.8%（三重県 6.0%，全国 5.6%）

封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を適切に書くことができませんでした。縦書きで、住所を右側、名前に敬称を適切に付けて中央に書くことはできていても、正しく楷書で書けない生徒がいました。住所の数字を漢数字で書かなかった生徒が多かったのではないかと思います。

・問題2一：正答率75.6%（三重県 77.9%，全国 80.4%）

二：正答率62.6%（三重県 67.6%，全国 69.7%）

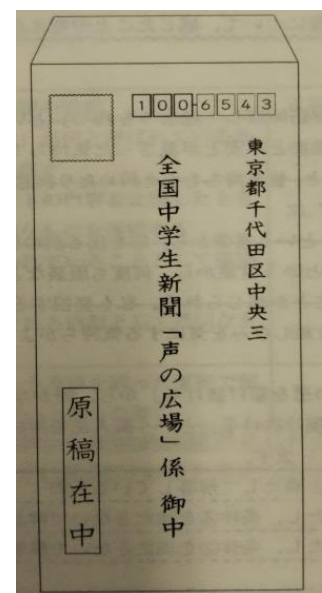
「地域とのつながりを大切にした文化祭にするために」という議題での話し合いにおいて、発言者の役割や発言の内容について正確に捉えることができませんでした。

■全体の傾向から見られる課題

- 問題1二では、新聞の本記事の内容を正確に読み取ることができない生徒が多く見られました。問題1一、新聞のリード文の内容を読み取ることができていたことに比べて正答率が低かったことから、ある程度の長さの文章（150字程度）の内容は読み取ることができて、長い本記事（800字程度）の内容を読み取ることはできなかったと思われます。普段から、長文を読み取らせる指導が必要です。

問題1四では、封筒の宛名を正確に書くことができない生徒が多く見られました。普段、封筒で手紙を出す機会が少ないと思います。職場体験学習の御礼を出す等の機会を生かして、指導していく必要があります。

問題2一・二では、生徒会役員たちの話し合いの一部を読み、発言者の役割や発言の内容について正確に捉えるこ



とができなかった生徒が多く見られました。三で自分の考えを述べることは正答率が高かったことから、話し合い活動で自分の意見を述べることは慣れているものの、他の発言者の役割や発言の内容を正確には捉えられなかったようです。話し合い活動を行う際には、他者の考えを確かめたり、話し合ったことをまとめたりしながら進めるのがよいと思われます。

## ＜中学校数学＞

### ○強み

平均正答率が県平均も全国平均も上回っています。これまでの取組の成果が表れているといえます。

- ・問題 2：正答率 80.9%（三重県 70.60%，全国 70.1%）

連立方程式の処理の仕方を理解しており、適切に答えることができたといえます。

- ・問題 4：正答率 56.5%（三重県 51.6%，全国 48.9%）

反比例の表から  $x$  と  $y$  の関係を式で表すことができています。

- ・問題 6（2）：平均正答率 41.2%（三重県 37.7%，全国 34.7%）

冷蔵庫の代金と電気代との関係を表や一次関数のグラフをもとに解釈し、グラフや式を用いて説明することができています。日常生活におけるできごとを数学的に解釈し、数学的に問題解決の方法を説明することができたといえます。

- ・問題 7（1）：正答率 81.7%（三重県 78.9%，全国 75.8%）

証明で用いられている三角形の合同条件を書くことができています。証明の根拠となる三角形の合同条件を理解できています。

- ・問題 8（1）：正答率 41.2%（三重県 37.7%，全国 34.7%）

図書委員会が整理した表から、最頻値を読み取ることができています。

### ○弱み

- ・問題 8（2）：正答率 42.7%（三重県 43.0%，全国 40.8% 無回答率 21.4%）

「『中央値』『最頻値』といった知識を生かしながら、ヒストグラムを読みとったり、読み取ったことの理由を記述したりする問題」

無回答率が高かったのは、問題の条件に当てはめて、ヒストグラムの特徴を用いて答えるということが、分からなかったためだと考えられます。

- ・問題 9（2）：正答率 27.8%（三重県 22.7%，全国 19.8% 無回答率 19.8%）

- ・問題 9（3）：正答率 64.1%（三重県 69.2%，全国 69.6%）

「『連続する 3 つの奇数の和は、中央の奇数の 3 倍になる』という予想が、様々な場合で成り立つことを証明する問題」

総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することに課題がみられます。

例題で理解したことを、次に取り組む問題に当てはめて考えたり、説明したりすることができなかつたと考えられます。また、ひとつ前の問題で明らかになったことを次の問題に関連付けて考えることも難しかったようです。ひとつのテーマの中で3つの問題が出題されましたが、それぞれのつながりを理解する必要があります。

無回答率が高かったのは、どのように考えてよいか、分からなかったためだと考えられます。それは、問われていること、答えるべきことを、問題文から読み取ることができていないことが、大きな要因であるといえます。

#### ■全体の傾向から見られる課題

- 短答式問題の正答率が高くなっています。小学校からの積み上げと、それをしっかりと生かしながら弱点を克服する、ていねいな取組の成果といえます。
- 全体的な底上げができています。基礎的な問題を中心に正答率が上がっていますので、さらに思考が必要な問題に対しても、取り組んでいける土台ができてきているといえます。
- 選択式の問題と問題文が長く複雑な問題を解いていくことに、課題がみられます。5問中3問の選択式問題で、三重県、全国の正答率を3%以上下回りました。選択肢の中で迷ってしまったり、正しくないものを正答だと勘違いしてしまったりしていることが考えられます。問題文が長く複雑な記述式の問題においては、無回答率が高くなる傾向があります。

普段の授業から、問題文を読み取ることが必要な問題に取り組む際には、問われていること、答えるべきことを見出す力をつけていくことが必要だといえます。また、ひとつの問題においてわかったことを次の課題に生かしたり、現在取り組んでいる問題を解くために前の問題を参考にしたりするといった、学習のつながりを意識した指導が大切であると考えます。

#### ＜中学校英語＞

##### ○強み

- ・ 問題3：正答率 86.3%（三重県 80.8%，全国 82.0%）

まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができました。

天気予報を聞き、ピクニックに行くのに最も適している曜日を聞き取ることができました。

- ・ 問題6：正答率 64.9%（三重県 62.7%，全国 62.9%）

まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができました。

発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドを選ぶことができました。

- ・ 問題9(1)②：正答率 65.6%（三重県 58.9%，全国 58.2%）

文の中で適切に接続詞を用いることができました。前半と後半の文の意味

がわかり、逆接の接続詞を選ぶことができました。

- ・問題 9 (3)①：正答率 61.1% (三重県 59.1%, 全国 53.5%)

与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書くことができました。出身を言う英文を、Be 動詞を使用して正確に書くことができたと考えられます。

- ・無回答率

全 21 問中 10 問について、全員が回答しました (無回答率 0%)。三重県や全国では全員が回答した問題はありませんでした。

#### ○弱み

- ・問題 4：正答率 5.3% (三重県 7.0%, 全国 7.6%)

無回答率 51.1% (三重県 39.9%, 全国 42.3%)

聞いて把握した内容について、適切に応じることができませんでした。来日予定の留学生からの音声メッセージで **Which club activities can I try? Can you give me some advice?** という問いかけを聞いて、自分なりのアドバイスを英語で書くことができませんでした。また、他の問題に比べて無回答率が非常に高くなりました。

- ・問題 9 (3)②：正答率 22.9% (三重県 32.2%, 全国 32.9%)

(3)③：正答率 25.2% (三重県 42.4%, 全国 37.4%)

与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書くことができませんでした。住んでいる都市・ペットを飼っていないことについて、一般動詞の三人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことができませんでした。与えられた情報に基づいて解答しているものの、語や文法事項等に誤りが多く見られました。

- ・問題 10：正答率 0.8% (三重県 1.8%, 全国 1.8%)

無回答率 10.7% (三重県 7.4%, 全国 8.3%)

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができませんでした。三重県や全国でも正答率が低い問題ですが、鳥羽市ではさらに低い結果となりました。無回答率は三重県や全国より高くなりました。特に 25 語以上の英語で書けていない生徒が多かったようです。

#### ■全体の傾向から見られる課題

- 聞き取り問題 3 や読み取り問題 6 など、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、必要な情報を捉えたりあらすじを理解したりすることはできています。

問題 9 (1)②では、会話で使う簡単なやりとりにおいて適切な接続詞を使用することができています。このことから、日常会話で使用する簡単なやりとりでは適切な語を使って受け答えができると考えられます。しかしながら、問題 4 のよう

なまともった英文で話された時に、どう答えていいかわからないという課題が見られます。なまともった英文を聞く時に「何を尋ねられているか」を理解し、それに対して答えられるような力をつけていくために、英語でのやりとりは一問一答だけではなく、ある程度なまともった英語で話す工夫が必要です。

また、会話だけではなく、質問された答えを英文で書く2技能統合型の指導もしていくとさらに力がつきます。問題9(3)では、Be動詞の英作文は正確に書くことができて、一般動詞の三人称単数現在形を使った英作文はできないということがわかりました。中学1年生で習った内容について定着していないことが考えられます。既習の文法内容について、適宜復習しながら定着を目指していく必要があります。問題10では、25語以上の英語で自分の考えを書けない生徒が多く見られました。普段から、少しずつなまともった英文を書く指導を行い、25語程度の英文を書くことにも慣れさせる必要があると考えます。その中で、読んだ英文に対して自分なりの考えを書くといった2技能統合型の指導も取り入れることが望ましいです。

## (2) 無解答率の状況

問題に対して無回答が多いほど、無回答率は高くなります。

| 小学校 | 小 国語 | 算数  | 中 国語 | 数学  | 英語  |
|-----|------|-----|------|-----|-----|
| 鳥羽市 | 5.3  | 2.1 | 2.2  | 5.9 | 6.0 |
| 三重県 | 5.5  | 2.5 | 2.6  | 6.7 | 5.4 |
| 全 国 | 6.2  | 2.7 | 2.6  | 7.3 | 6.0 |

小中学校のすべての教科において無回答率が低いといえます。普段からあきらめずに取り組む指導の成果であると考えられます。

記述問題（文章を書いたり、解答を言葉や数、式を使って説明したりする）においては、比較的正答率の高い問題についても、無回答率が高い傾向があります。書く力において、2極化しているといえます。書く力の底上げが必要だといえます。「書く」ということの前に、つまりながらも「話す」ことで書く内容を整理させるような活動も考えられます。

### (3) 各教科の平均正答率

(単年) 鳥羽市と三重県の正答率は小数点以下を四捨五入したもの

| 小学校 | 国語         | 算数         |
|-----|------------|------------|
| 鳥羽市 | 全国と比べてほぼ同じ | 全国と比べてほぼ同じ |
| 三重県 | 64.0       | 67.0       |
| 全 国 | 63.8       | 66.6       |

| 中学校 | 国語         | 数学         | 英語         |
|-----|------------|------------|------------|
| 鳥羽市 | 全国と比べてほぼ同じ | 全国と比べてほぼ同じ | 全国と比べてほぼ同じ |
| 三重県 | 72.0       | 60.0       | 56.0       |
| 全 国 | 72.8       | 59.8       | 56.0       |

(経年) 小学校第6学年時(H28)と中学校第3学年時(H31)の平均正答率の変化について

今年度の中学校3年生について、小学校6年生時の平均正答率を比較した結果、「主に知識」を問う問題に関しては、改善が見られます。「主に活用」の力を問う問題に関しては、改善も見られるようになってきましたが、課題もみられます。多様な問題に積極的に取り組むとともに、発表や話し合いといったアウトプットの場を与えるなどして、「考える力」と「活用力」を向上させる必要があると考えられます。その他、「わかった」ことを確かめる必要も考えられます。児童生徒が「分かった。」と言っていることを、適切な形でふりかえりとして書かせたり、適用問題を解かせたりすることで、力を伸ばすことにつながるのではないのでしょうか。

このような活動を効果的に取り入れることで、学習に対してより前向きな気持ちを養えると考えます。特に小学生は、あきらめることなく取り組む姿勢とともに、楽しく学ぶ気持ちを伸ばしていくことで、よりよく学ぶ力にもつながるといえるでしょう。

中学生は、定期テスト等で多様な問題に取り組む機会が多く、初めての問題に対しても積極的に取り組むことができているといえます。中学校の指導者は普段から入試問題等の分析とともに、それを生かした問題作成及び指導を行っているため改善がさらに進んだものと考えられます。これらの力を伸ばすことに、小学校で身に付けた学習への取り組む姿勢などが寄与しているといえます。

## 2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

### （１）児童生徒質問紙調査に関する結果から特に大切にしたいもの

#### ①家庭学習への取組（肯定的な回答）

計画的に学習をしている児童・生徒については、小学校は年々改善が見られ全国を大きく上回っています。しかし、中学校は昨年度から減少し始め、全国を下回っています。

鳥羽市において１時間以上家庭学習している児童生徒の割合は、全国的にも高いといえます。計画性を併せ持つことで、さらなる学力向上を期待できると思います。

（質問：小・中１７）家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

| 小学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 66.7 | 76.8 | 76.4 |
| 三重県 | 62.8 | 67.6 | 71.7 |
| 全 国 | 64.5 | 67.6 | 71.5 |

| 中学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 65.2 | 51.8 | 43.5 |
| 三重県 | 54.3 | 54.8 | 52.6 |
| 全 国 | 51.5 | 52.1 | 50.4 |

（質問：小・中１８）家庭学習の時間（１時間以上）

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）

\* 平成 30 年度は、質問項目が「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。」  
「家で、学校の宿題をしていますか。」に分かれていました。今年度の数値と比較するために、この２つの項目の数値の平均を標記しました。

| 小学校 | H30  | H31  |
|-----|------|------|
| 鳥羽市 | 71.8 | 76.3 |
| 三重県 | 61.1 | 64.2 |
| 全 国 | 62.6 | 66.1 |

| 中学校 | H30  | H31  |
|-----|------|------|
| 鳥羽市 | 51.8 | 66.4 |
| 三重県 | 55.7 | 67.5 |
| 全 国 | 55.2 | 69.8 |

## ②自尊感情（肯定的な回答）

小学校中学校ともに、「よいところがある」「よさを認めてくれている」といった項目において全国を下回っています。地域や社会をよりよくしたいという思いを持ち、人の役に立ちたいという願いを持っているという項目は全国を上回っています。

学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、評価したり声かけをしたりすることについて、よりよい方法等を考えていく必要があるかもしれません。

（質問：小・中５）自分にはよいところがあると思う。

| 小学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 85.0 | 78.2 | 74.0 |
| 三重県 | 77.4 | 83.4 | 80.1 |
| 全 国 | 77.9 | 84.0 | 81.2 |

| 中学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 80.2 | 82.0 | 70.9 |
| 三重県 | 73.2 | 79.9 | 74.9 |
| 全 国 | 70.7 | 78.8 | 74.1 |

（質問：小・中６）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

| 小学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 85.7 | 85.2 | 79.5 |
| 三重県 | 87.2 | 86.4 | 87.8 |
| 全 国 | 86.0 | 85.3 | 86.1 |

| 中学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 85.5 | 82.7 | 79.4 |
| 三重県 | 82.2 | 84.2 | 83.1 |
| 全 国 | 80.4 | 82.2 | 81.5 |

（質問：小・中８）将来の夢や目標を持っていますか。

| 小学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 80.9 | 74.6 | 81.1 |
| 三重県 | 84.4 | 83.7 | 82.6 |
| 全 国 | 85.9 | 85.1 | 83.8 |

| 中学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 78.5 | 74.4 | 64.2 |
| 三重県 | 71.2 | 72.5 | 69.5 |
| 全 国 | 70.5 | 72.4 | 70.5 |

(質問：小・中 2 3) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 77.9    | 61.9    |
| 三重県 | 74.1    | 56.8    |
| 全 国 | 68.0    | 50.6    |

(質問：小・中 2 4) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 61.4    | 51.2    |
| 三重県 | 52.5    | 40.2    |
| 全 国 | 54.5    | 39.4    |

(質問：小・中 1 6) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 96.8    | 91.6    |
| 三重県 | 95.5    | 94.8    |
| 全 国 | 95.2    | 94.3    |

### ③基本的な生活習慣

各家庭で生活習慣を身に付けることの、よさについて、話をするのが大切と考えます。

(質問：小・中 1, 2, 3)

基本的な生活習慣を身につけた子どもたちの割合

(朝食・起床就寝を「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の平均値【小数点以下を四捨五入】)

| 小学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 87.1 | 85.4 | 87.6 |
| 三重県 | 88.6 | 86.0 | 89.2 |
| 全 国 | 88.8 | 86.8 | 89.4 |

| 中学校 | H29  | H30  | H31  |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 86.9 | 87.0 | 83.4 |
| 三重県 | 87.1 | 85.2 | 85.6 |
| 全 国 | 88.6 | 85.5 | 88.0 |

④各教科について「好き」と「授業がわかる」(肯定的な回答)

各教科とも、授業の内容がわかると答えた児童生徒が、全国を上回っています。

各教科を好きと答えた児童生徒も、全国を上回っていることが多いです。「好き」という回答よりも「よくわかる」という回答の割合が高くなっています。学習の楽しさを味わえる取組を進めることで、さらなる学力の向上が望めるといえます。

(質問：小３７) 国語・算数の勉強は好きですか。

| 小学校 | 国語   | 算数   |
|-----|------|------|
| 鳥羽市 | 56.7 | 59   |
| 全 国 | 64.2 | 68.6 |

(質問：小３９) 授業の内容はよく分かりますか。

| 小学校 | 国語   | 算数   |
|-----|------|------|
| 鳥羽市 | 85.1 | 74.1 |
| 全 国 | 84.9 | 83.5 |

(質問：中３７) 国語・数学・英語の勉強は好きですか。

| 中学校 | 国語   | 数学   | 英語   |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 64.1 | 49.7 | 51.9 |
| 全 国 | 61.7 | 57.9 | 56   |

(質問：中３９) 授業の内容はよく分かりますか。

| 中学校 | 国語   | 数学   | 英語   |
|-----|------|------|------|
| 鳥羽市 | 79.4 | 74   | 72.6 |
| 全 国 | 77.6 | 73.9 | 66   |

⑤話し合いの活動（肯定的な回答）

小学校中学校ともに、ほとんどの項目において県・全国を上回っています。積極的に話し合いを学校生活や学習に取り入れていることが分かります。新学習指導要領に示された学力に迫るための土台づくりが進んでいるといえます。

（質問：小２９・中３２）学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めた、広げたりすることができていると思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 81.9    | 76.4    |
| 三重県 | 73.4    | 74.2    |
| 全 国 | 74.1    | 72.8    |

（質問：小３２・中３５）学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 71.6    | 69.4    |
| 三重県 | 72.1    | 73.4    |
| 全 国 | 74.0    | 71.6    |

（質問：小３３・中３６）学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 77.2    | 66.4    |
| 三重県 | 72.5    | 66.2    |
| 全 国 | 73.4    | 65.6    |

（質問：小３４・中３９）道徳の授業（中学校では１・２年生までの道徳の授業）では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 85.0    | 75.6    |
| 三重県 | 78.9    | 77.1    |
| 全 国 | 80.9    | 76.6    |

（質問：小３６・中３８）小学校５年生まで、または中学校１・２年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

|     | 小学校 H31 | 中学校 H31 |
|-----|---------|---------|
| 鳥羽市 | 65.3    | 52.7    |
| 三重県 | 61.2    | 55.2    |
| 全 国 | 62.5    | 55.8    |

(2) 鳥羽市として大切にしたい10個の項目の経年変化  
(経年変化) 小学校

|                                | 質問項目                                                                                        |       | H29  | H29→<br>H30 | H30  | H30→<br>H31 | H31  | H29→H31 |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|-------------|------|-------------|------|---------|
| ①, ②, ③については、低い方が改善しているものとします。 |                                                                                             |       |      |             |      |             |      |         |
| ①                              | 平日のテレビ等の視聴<br>(3時間以上)                                                                       | 本市    | 41.5 | ↗           | 35.5 | ↗           | 20.0 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 32.7 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 8.8  |             | -    |             |      |         |
| ②                              | 平日のテレビゲーム等使用時間<br>(スマホのゲームを含む)(3時間以上)                                                       | 本市    | 19.8 | ↘           | 26.2 | →           | 26.2 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 17.6 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 2.2  |             | -    |             |      |         |
| ③                              | 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上)                                                             | 本市    | 8.2  | ↘           | 9.7  | ↗           | 5.4  | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 7    |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 1.2  |             | -    |             |      |         |
| ④                              | 平日の学習時間<br>(1時間以上)                                                                          | 本市    | 73.4 | ↘           | 66.9 | ↗           | 76.3 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 64.4 |             | 66.2 |             | 66.1 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 9    | ↘           | 0.7  | ↗           | 10.2 | A       |
| ⑤                              | 休みの日の学習時間<br>(1時間以上)                                                                        | 本市    | 59.8 | ↗           | 68.3 | ↘           | 63.0 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 57.3 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 2.5  |             | -    |             |      |         |
| ⑥                              | 平日の読書時間(30分以上)                                                                              | 本市    | 32.7 | ↗           | 45.1 | ↘           | 36.2 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 36.5 |             | 41.1 |             | 39.8 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | -3.8 |             | 4.0  | ↘           | -3.6 | C       |
| ⑦                              | いじめはどんな理由があってもいけないと思う                                                                       | 本市    | 97.2 | ↗           | 97.9 | ↘           | 95.3 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 96.1 |             | 96.8 |             | 97.1 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 1.1  | →           | 1.1  | ↘           | -1.8 | C       |
| ⑧                              | 5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。                 | 本市    | 80.9 | ↗           | 84.8 | ↘           | 76.9 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 77.9 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 1    |             | -    |             |      |         |
| ⑨                              | 授業では学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っている。                                                               | 本市    | 86.4 | ↗           | 91.0 | ↘           | 87.6 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 84.5 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 1.9  |             | -    |             |      |         |
| ⑩                              | 5年生までに受けた授業では、学級やグループの中において自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。 | 本市    | 81   | ↘           | 77.2 | ↘           | 75.4 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 75.1 |             | -    |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 5.9  |             | -    |             |      |         |

矢印は、「本市の割合」及び「全国との差」の変位を表し、↗は「改善・上昇」、→は「変動なし」、↘は「下降」を表す。

A・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。

表中の+・-は、「本市の割合」の変位を表し、+は「改善・上昇」、-は「下降」を表す。

(経年変化) 中学校

|                                | 質問項目                                                                                        |       | H29  | H29→<br>H30 | H30  | H30→<br>H31 | H31  | H29→H31 |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|-------------|------|-------------|------|---------|
| ①, ②, ③については、低い方が改善しているものとします。 |                                                                                             |       |      |             |      |             |      |         |
| ①                              | 平日のテレビ等の視聴<br>(3時間以上)                                                                       | 本市    | 23.8 | ↘           | 23.9 | ↗           | 15.9 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 25.3 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | -1.5 |             |      |             |      |         |
| ②                              | 平日のテレビゲーム等使用時間<br>(スマホのゲームを含む)(3時間以上)                                                       | 本市    | 21.5 | ↘           | 21.6 | ↗           | 21.2 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 21.4 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 0.1  |             |      |             |      |         |
| ③                              | 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上)                                                             | 本市    | 19.8 | ↗           | 14.2 | ↘           | 15.1 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 18.1 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 1.7  |             |      |             |      |         |
| ④                              | 平日の学習時間<br>(2時間以上)                                                                          | 本市    | 39.5 | ↘           | 27.9 | ↗           | 29.0 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 35.4 |             | 36.4 |             | 35.5 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 4.1  |             | -8.5 |             | -6.5 |         |
| ⑤                              | 休みの日の学習時間<br>(2時間以上)                                                                        | 本市    | 48.3 | ↗           | 52.2 | ↗           | 62.1 | +       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 41.8 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 6.5  |             |      |             |      |         |
| ⑥                              | 平日の読書時間(30分以上)                                                                              | 本市    | 25.6 | ↗           | 36.2 | ↘           | 19.0 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 29.2 |             | 30.9 |             | 27.0 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | -3.6 |             | 5.3  |             | -8.0 |         |
| ⑦                              | いじめはどんな理由があってもいけないと思う                                                                       | 本市    | 95.4 | ↗           | 97.0 | ↘           | 95.4 | C       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 92.8 |             | 95.5 |             | 95.1 |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 2.6  |             | 1.5  |             | 0.3  |         |
| ⑧                              | 1・2年生の時に受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。               | 本市    | 85.5 | ↘           | 82.1 | ↘           | 79.5 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 74.9 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 10.6 |             |      |             |      |         |
| ⑨                              | 授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っている。                                                                    | 本市    | 87.8 | ↗           | 90.3 | ↘           | 89.3 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 81.8 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 6    |             |      |             |      |         |
| ⑩                              | 1・2年生の時に受けた授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。 | 本市    | 78.1 | ↘           | 77.6 | ↘           | 77.3 | -       |
|                                |                                                                                             | 全国    | 65.7 |             |      |             |      |         |
|                                |                                                                                             | 全国との差 | 12.4 |             |      |             |      |         |

矢印は、「本市の割合」及び「全国との差」の変位を表し、↗は「改善・上昇」、↘は「変動なし」、↙は「下降」を表す。

A・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。

表中の+・-は、「本市の割合」の変位を表し、+は「改善・上昇」、-は「下降」を表す。

### 3 鳥羽市教育委員会による学校支援とその成果等の状況

- 各校における公開授業、事後検討会の場の充実をめざすことで、指導者の授業力向上に取り組んでいます。検討会の場における指導助言では、様々な事例を紹介するなどして、各校における実践の深まりを図ってきました。

各校において、主体的に学ぶ姿、対話的に学ぶ姿、深く学んでいる姿を具体化する取組が行われています。教員が教科横断的な学力を意識して、指導事項を明確に持つことで、新学習指導要領をはっきりと意識された授業が多く見られました。また、「少人数指導の充実」といった取組も進められています。

- 学力向上委員会において、三重県教育委員会が作成した「学V i v aセット」「ワークシート」「効果的な少人数指導推進ガイドブック」の活用を進め、「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」等の過去問題への取組も推進してきました。また、「めあてと振り返り」の確実な実施も図ってきました。

積極的に意欲的に取り組んだ子どもたちが、「書く」問題において最後まであきらめずに取り組むことができたという成果が出ています。各校における日々の児童生徒との積み上げが身を結んでいるとともに、多様な問題に積極的に取り組み、多くの問題を経験していたことも大きな力の一つであったと考えています。

### 4 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

- 中央教育審議会の答申に、『「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、特定の指導方法のことも、学校教育における教員の意図性を否定することでもない。教員が教えることにしっかり関わり、子供たちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくことである。』とあります。

鳥羽市においても、これまでに大切にされてきた、「子どもが自ら考え、仲間と共に学び、課題を解決していく学習」を推進していくことが深い学びにつながっているものと考えます。教員は授業を進めていく上で、「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」を検証ツールととらえ、年間2回の大きなPDCAサイクルを確立し、客観的な視点から子どもたちの課題を抽出し授業改善していくことで、学習効果を高めることができます。また、目の前の子どもが「何に困り、何をわかりたいのか」を知り、授業計画→授業実践→授業反省→授業改善という日々のPDCAサイクルを確立していくことも必要と考えています。

- 自分たちで課題に取り組み、一人一人がよく考え、「できるとすごくうれしい。」と話すようになった子どもの変容を目の当たりにし、喜びを実感する教員の姿があります。この姿は学校全体で「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感させるため、授業改善の取組を繰り返したからこそ見られたものだと考えます。今後も各校において、学校長を中心に学校全体で同じ方向性を持った組織的・継続的な授業実践を推進していきます。

また、三重県教育委員会作成の「ワークシート」「学-vivaセット」等を、子どもたちにとっては力試しの場として、教員にとっては多様な問題に対する解答から現状把握を行うツールとして、一層の活用の推進を図ります。

このような取組を支えるものとして、学Viva通信があります。取り組むべきこと

や疑問についての詳しい解説が掲載されています。また、現在取り組んでいることの価値づけもなされています。研修会などの機会はもちろん、日頃の取組のヒントとしても、学 Viva 通信の活用を推奨していきます。

- 地域の実態に合わせ、時には地域の力を借りて、子どもたちが学びを発信していく場を設定することが必要と考えています。自分の力で発信していくことは、日々の学びを様々な面から引き出すことにつながります。必要な情報を選択し、相手を意識して表現する能力を育てていくことは、子どもたちが生きていく社会に欠かせない能力です。

例えば、菅島小学校、神島小学校では「島っ子ガイド」でたくさんの島の名物から、ガイドする相手への意識を持って必要なものを選び取り紹介しています。また、培った経験が普段の生活や授業の中にも表れるという双方向の効果が出ています。

このように、子どもたちが普段の学習で培った力を実感する場を、各校や地域の実態に合わせて設定していくことが必要であると考えています。

- 学習指導の改善・充実、学力向上を図るためには、校内や校区内、鳥羽市全体でお互いの授業や研修会等を見合うことで、教師一人ひとりが力を伸ばしていくことが大切であると考えています。6月に各校へ配付した「研修内容等一覧表」の積極的な有効活用を推進していきます。このことが、校内研修の活性化及び若手教員の人材育成等にも繋がると考えます。

- 全体を通じて、以下の点を押さえた指導の充実を今後も図っていきます。

#### 【児童生徒の活動】

- ・資料を使って発表すること
- ・根拠を示しながら話しあうこと
- ・他の考え方を受け入れ、判断すること  
(間違いに対して、「相手の考え方を受け止め、何を加えれば・どこを変えれば『正答』になり得るか考えさせる。」など)
- ・自分で調べたこと、考えたことをわかりやすく文章に書くこと
- ・目的や相手に応じて話したり、聞いたりすること

#### 【授業・指導】

- ・発展的な学習をする授業
- ・実生活における事象との関連を図った授業
- ・地域の人材を外部講師として招く授業
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をすること

市内各校において、これらを子どもの状況に応じて選択し、組織的・継続的な取組を推進していきます。